第15期

物流現場改善士 資格認定講座

公益社団法人 日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

後援：経済産業省・国土交通省（以上、両省申請予定）

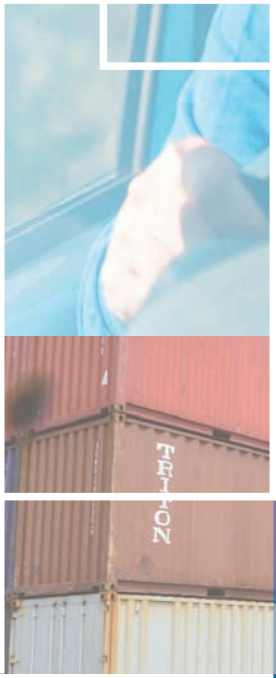
6/5 WED 2024 — 2/7 FRI 2025

物流現場改善をデータで議論、
数値で管理し、改善を実践する
物流現場改善リーダー育成のための専門講座

本講座の特色

- ●グループディスカッション、演習を多く取り入れ、理論・知識を実践で活用するための実践力を身に付けます。
- ●実際の企業の物流現場をモデルにしたケーススタディへ取り組みます。
- ●講座の成果として受講者の担当職場の改善実行計画が完成します。

※本講座では受講生各位にPCをご準備いただき、エクセル、パワーポイントならびにe-mailを使用します。



物流現場改善士資格認定講座

開催にあたって

物流現場改善士専門委員会 委員長
渡邉　一衛

物流企業は、必要なものを、必要な分だけ、必要な時に、必要な状態で供給者から需要者へ移動させる役割があります。それを支えるのが包装、輸送、保管、荷役、流通加工及びそれらに関連する情報などの固有技術です。しかし、固有技術だけ持っていてもその役割を継続的に果たすことはできません。いわゆるP(生産性)、Q(品質)、C(コスト、資金)、D(納期、時間)、S(安全性)、M(モラール、士気)、E(環境)などの評価尺度を満たす必要があり、そのための適切な管理を行うことになります。

物流はサービス業であるといわれます。サービス業に携わる人口は近年急速に増え、就業人口の7割に達しています。しかしその生産性は低いのが現実であり、高い生産性を実現したものづくりの管理技術をサービスづくりに適用しようという試みが行われています。サービスのプロセスは、お客様と直に接する部分(フロントヤード)と、お客様に提供するサービスを作る部分(バックヤード)があり、ものづくりのノウハウが適用し易いのは後者です。物流で見れば上で示した固有技術を適用している現場がそれにあたります。

本講座では、物流現場の生産性向上を行うための改善ができる人材を育成することをねらいとしています。日々の仕事は遂行できるが、そこにある多くの問題に気づかず、言われたことだけを行っている人はリーダーとしての資質を問われます。そのため、本講座では特に問題発見(気づき)の訓練の時間を多くとりました。次に、QCDに関する管理技術の内容を背骨にして、現場改善の実践力を高める内容を取り入れました。さらに、企業事例により具体的なモデルケースに取り組むと同時に、自社の事例で少人数のディスカッションを行い、受講後すぐに実現できる実施計画を立てるところまでを学習いたします。

以上のように、本講座は物流現場のリーダーを実践的に育成するプログラムとして、各企業および物流現場の皆様に活用していただけるものと確信致します。なお、2023年度には65名(累計833名)の物流現場改善士が誕生し、企業内での活躍が期待されております。関係各位の積極的な受講をお待ち申しあげております。

本講座のねらい

本講座は、現状把握、改善企画、改善実行、ならびに評価・定着の4つの力をベースとする「改善実践力」を習得し、物流現場改善を、データを活用して実践する、物流現場改善リーダーを育成します。

本講座で習得できる能力　～改善実践力～

改善実践力の習得

【現状把握力】【改善企画力】【改善実行力】【評価・定着力】

改善案の立案

- 改善案の立案
- 優先順位付け
- 改善策の提案
- 改善策の評価

問題の把握

- 改善の必要性の認識
- 実態の認識
- 改善の着眼
- 問題・課題の抽出

知識(手法・技法等)

- 科学的管理手法
- PDCAサイクル
- 5S・安全
- 評価指標

本講座のねらい

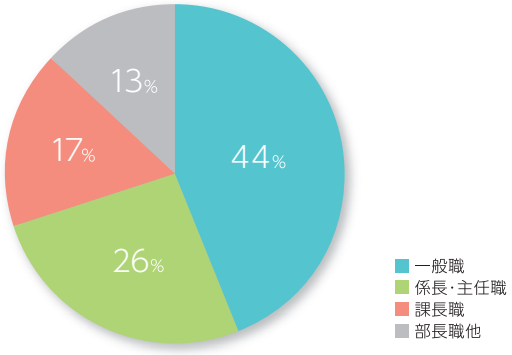
- 本講座は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会が主催し、第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタントで構成した「能力開発委員会 物流現場改善士専門委員会」によって企画、運営される講座です。
- 本講座を受講し、修了基準を満たした方には「修了証」を授与いたします。また、本講座を修了し、所定の試験に合格した方には「物流現場改善士」の資格が授与されます。
- 本講座は、物流現場改善に不可欠な専門知識とノウハウを、講義、先進事例の紹介、演習、ならびにグループディスカッションを通じて提供いたします。
- 受講前後に「物流現場改善リーダーキャリアアップ診断」(以下、診断)を行います。受講前の診断では受講者各自の強み、弱みを把握し、受講後の診断では、理解度を確認いたします。
- 問題発見・改善企画レポート、改善実行計画レポート-1は、振返り演習において講師から指導が行われます。
- 改善実行計画レポート-1は、講師から1対1でのレポート指導が行われます。
- 全てのレポートは講師が確認し、受講者にフィードバックされます。

受講対象

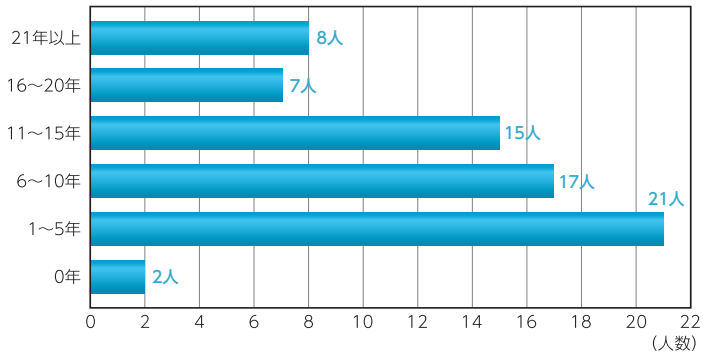
- 製造業、物流企業(運送事業者・倉庫業者等)の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方を対象とします。
- 受講者が改善の対象とできる物流現場をモデルに改善実行計画までのレポートを作成します。受講にあたっては、調査の実施やデータの入手が可能な物流現場が必要となります。なお、既に取り組みが終了している改善事例をレポートの対象とすることはできません。

第14期 物流現場改善士資格認定講座 受講者分布

■ 役職



■ 物流実務経験年数



物流現場改善士専門委員会　委員一覧

(2024年3月現在・敬称略)

委員長	渡邉　一衛	成蹊大学 名誉教授	興村　徹	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー
副委員長	黒川　久幸	東京海洋大学 学術研究院 流通情報工学部門 教授	小林　広義	日本ロジテム株式会社 シニアコーディネーター
委　員	牛村　良弘	株式会社イトーヨーカ堂 物流運営管理部 マネジャー	黒澤　明	株式会社物流改善事務所 代表取締役
	雨宮　路男	株式会社エム・ロード・エキスパート 専務取締役 人材育成・改善業務活動・事業統括コンサルタント	小野寺正行	物流寺子屋　グローツィック 代表 フジセーレック株式会社 物流改善顧問
	酒井　路朗	エルディーシー研究所 所長	石山　光博	株式会社ブラウド 代表取締役社長
	仙石　惠一	Kein物流改善研究所 代表	荒井　健吾	明治ロジテック株式会社 取締役 運営推進部長
	広瀬　卓也	株式会社日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング事業本部 オペレーションズ・デザイン&マネジメントユニット シニア・コンサルタント	芝田　稔子	株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	飯田　正幸	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILSアドバイザー	中谷　祐治	ロジ・ソリューション株式会社 常務取締役 戦略コンサル部長

第15期　物流現場改善士資格認定講座 カリキュラム

第1単元　物流現場改善概論

1日

物流現場改善活動が、なぜ必要であるのか。物流現場改善が企業競争力強化と企業価値の向上に与える影響、物流現場改善の重要性ならびに物流現場改善リーダーに必要な心構えについて講義するとともに、受講者の担当業務の物流フローについて理解する。

（敬称略）

日　程	時　間	講義テーマ	講　師
2024年 6月5日（水） 集合開催	10:00 ～ 10:30	オリエンテーション	事務局
	10:45 ～ 17:15	物流現場改善概論 1) 物流現場改善とは 2) 物流現場改善による効果 3) 物流現場改善のインパクト 4) 物流の基本認識 5) 演習：物流フロー図の作成	黒川　久幸 東京海洋大学 学術研究院 流通情報工学部門 教授
	17:15 ～ 17:35	講義振返りと意見交換	

第2単元　現状把握力の強化

1日

物流現場改善の第一歩は担当物流現場の問題点に気付くことにある。問題の発見に際し、どのような着眼点をもって問題点を抽出し、課題を明確にしていくか、企業事例と演習を交えて問題発見の能力を高める。

（敬称略）

日　程	時　間	講義テーマ	講　師
2024年 6月6日（木） 集合開催	9:00 ～ 13:00	問題発見の基礎 1) 5S・安全 2) 問題と課題の違い 3) 実態の認識 4) 企業事例の紹介と解説 -1	小林　広義 日本ロジテム株式会社 シニアコーディネーター
	14:00 ～ 18:00	問題発見のヒント 1) 改善の着眼点 2) 問題の抽出 3) 演習：問題発見の実施	酒井　路朗 エルディーシー研究所 所長
	18:00 ～ 18:20	講義振返りと意見交換	

第3単元　改善企画力の強化

4日

物流現場改善を企画・推進するうえで、適切な管理技術を活用し、データを用いて議論することが重要である。
本単元では、IEアプローチとQC的問題解決を用いた改善の実践手法を学ぶとともに、物流コスト分析の基礎を学ぶ。

（敬称略）

日　程	時　間	講義テーマ	講　師
2024年 6月19日（水） 集合開催	9:00 ～ 9:50	出題：問題発見・改善企画レポート	事務局
	10:00 ～ 12:00	問題発見・改善企画レポート作成のポイント・質疑応答	小林　広義 日本ロジテム株式会社 シニアコーディネーター
	13:00 ～ 17:00	物流コスト分析 1) 物流コストの構造と算出、管理 2) 物流 ABC、ABM の手法と実際	芝田　稔子 株式会社湯浅コンサルティング コンサルタント
	17:00 ～ 17:20	講義振返りと意見交換	
2024年 6月20日（木） 集合開催	9:00 ～ 18:00	科学的管理手法の習得 -QC 1) 物流作業の標準化と定量化 2) 簡単な IE 分析手法 3) QC ストーリーと QC7 つ道具	仙石　惠一 Kein 物流改善研究所 代表
	18:00 ～ 18:20	講義振返りと意見交換	
2024年 7月3日（水） 集合開催	9:00 ～ 18:00	科学的管理手法の習得 -IE 1) 固有技術と管理技術 2) 管理技術の役割 3) 問題解決の役割 4) IE の考え方とアプローチ 5) 問題点の分析・評価 6) 演習：作業測定・数値分析	渡邉 一衛 成蹊大学 名誉教授
2024年 7月4日（木） 集合開催	9:00 ～ 18:00		
	18:00 ～ 18:20	講義振返りと意見交換	
2024年7月24日（水）	問題発見・改善企画レポート提出		

第4単元 改善実行力・評価・定着力の強化

2日

企画した改善計画を実行し成果を出すには、改善実行計画を関係者に理解してもらい、コミュニケーションを深めながら計画を進めるとともに、定量的に進捗管理を行い、成果を出し、さらに成果の出た改善を評価し、定着させることが重要である。本単元では、改善の実行から、成果を出し、その成果を評価、定着、そして横展開するまでのノウハウを企業事例と演習を交えて講義する。

（敬称略）

日　程	時　間	講義テーマ	講　師
2024年 9月4日（水） オンライン開催	9:00 ～ 13:00	振返り演習 -1 問題発見・改善企画レポートのグループディスカッション	物流現場改善士専門委員
	14:00 ～ 18:00	改善実行の推進について 1) 実行推進の仕方 2) 教育・指導の基礎 3) トラブル対応 4) コミュニケーション 5) 企業事例の紹介と解説 -2	雨宮　路男 株式会社エム・ロード・エキスパート 専務取締役 人材育成・改善業務活動・事業統括 コンサルタント
	18:00 ～ 18:20	講義振返りと意見交換	
2024年 9月5日（木） オンライン開催	9:00 ～ 13:00	物流現場改善の評価・定着・横展開 1) 進捗管理 2) 目標達成と定着 3) 横展開 4) 企業事例の紹介と解説 -3	雨宮　路男 株式会社エム・ロード・エキスパート 専務取締役 人材育成・改善業務活動・事業統括 コンサルタント
	14:00 ～ 18:00	物流評価指標・KPI 1) 物流評価指標とは 2) KPI 設定の考え方 3) 進捗状況の評価 4) ケースの出題 5) 提案書・企画書の作成技法 6) 提案（プレゼンテーションについて）	広瀬　卓也 株式会社日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング事業本部 オペレーションズ・デザイン&マネジメントユニット シニア・コンサルタント
	18:00 ～ 18:20	出題：改善実行計画レポート -1	事務局
	18:20 ～ 18:40	講義振返りと意見交換	
2024年10月2日（水）	改善実行計画レポート -1 提出		

第5単元 物流現場改善立案：ケーススタディ

2日

この講座の集大成として、「問題発見」「改善企画」「改善実行」「評価・定着」の知識とノウハウを活用し、実践力を養う場である。実際の企業の物流現場をモデルにしたケースから、講座を通じて得た知識、能力を総動員し、物流現場改善の立案を行う。

（敬称略）

日　程	時　間	講義テーマ	講　師
2024年 10月23日（水） 集合開催	9:00 ～ 11:30	振返り演習 -2 改善実行計画レポート -1 のグループディスカッション	物流現場改善士専門委員
	12:30 ～ 17:00	個人指導 改善実行計画レポート-1の個人指導 ※作成したレポートに対して、1対1での指導を行います。 グループディスカッション 1) グループごとの提案書発表 （1）質疑・応答 （2）グループメンバー相互の提案評価 2) 講評とまとめ	物流現場改善士専門委員
2024年 10月24日（木） 集合開催	9:00 ～ 18:00		
	18:00 ～ 18:20	講義振返りと意見交換	
	18:20 ～ 18:40	出題：改善実行計画レポート -2	事務局
2024年11月7日（木）	改善実行計画レポート -2 提出		

修了 資格認定証授与式

日　程	時　間	
2025年2月7日（金）	16:00 ～ 18:30	認定証授与式・懇親会（集合開催）

「物流現場改善士」として期待される到達レベル

「物流現場改善士」資格の認定の際には、特に下記の要件が重要となります。

1）物流業務における問題点を常に意識し、問題点を把握することができる。
2）把握された問題点を、各種の分析手法を用い分析し、課題を抽出することができる。
3）抽出された課題に優先順位をつけ、課題解決のための方策を立案することができる。
4）課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得、実行することができる。
5）実行した課題解決の結果を評価できる。

「物流現場改善士」資格認定基準

「物流現場改善士」の資格認定は、以下の基準によって行います。

1）以下3つのレポート試験の全てを遅延なく提出し、改善実行計画レポート-2の全ての採点項目の得点が6割以上であること。
　1 第3単元で出題される問題発見・改善企画レポート
　2 第4単元で出題される改善実行計画レポート－1
　3 第5単元で出題される改善実行計画レポート－2
2）出席日数
　1 講座期間中（10日間）、7日以上出席し、個人指導を受けること。
　2 出席必須講義：振返り演習-1、2（第4単元、第5単元）、および第5単元「物流現場改善立案：ケーススタディ」の2日間、全てに出席し、個人指導を受けること。
　※資格認定規程の詳細については、講座開講時に事務局よりご説明いたします。

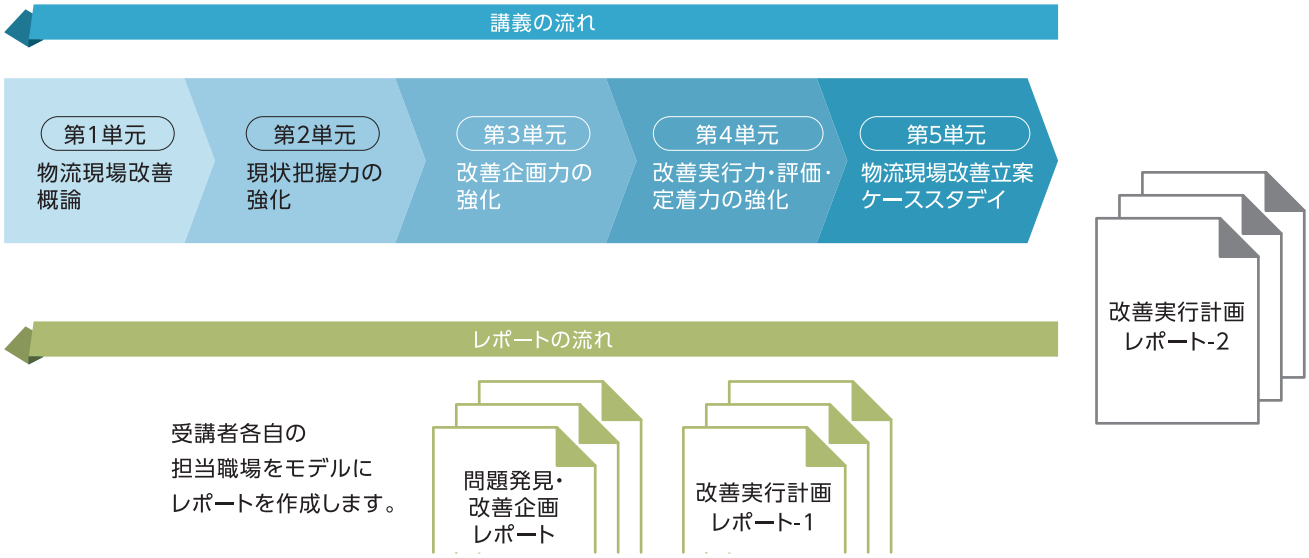
グループディスカッションについて

「振返り演習- 1，2」「物流現場改善立案：ケーススタディ」では、受講者をグループに分け、グループディスカッションを行います。各グループには経験豊富な講師陣が加わり、その指導のもと、物流現場改善のアプローチ方法を習得することができます。

「物流現場改善士」の資格認定に際しては、グループディスカッションを通じての成長度、取り組み姿勢も評価の対象となります。

レポートについて

講座の流れにしたがって、所定のレポートを提出していただくと、講座の終了時には、受講者各自の物流現場を対象とした改善実行計画がまとまり、この計画をもとに、物流現場改善を実践していただくことが可能です。



集合開催　講義会場について

● 会場: TIME24ビル（東京都江東区青海2丁目4番32号）
受講生はPCを持参いただき、エクセル・パワーポイント・e-mailを使用いたします。

オンライン講義（第4単元）について

1. 講義形式について

- 第4単元は、オンライン会議ツールの「Zoom」を使ったライブオンライン形式の講義となります。
- テキストは印刷物として事前に郵送にてご受講者様にお届けし、手元にテキストを控えながらご受講いただきます（申込時の住所とテキストの送付先住所が異なる場合は、その旨お申し出ください）。

2. オンライン講義使用ツールについて

- オンライン会議ツールの「Zoom」を使用します。ご受講に際しましては、事前に受講で利用するPC(※)にミーティング用Zoom クライアント等をインストールのうえ、以下の Zoom 接続テストURL にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください。Zoom クライアントが利用できない場合はご参加いただけません。
【Zoom 接続テスト用 URL https://zoom.us/test 】

  ※講師・受講者の双方向性をふまえた講義ならびにグループ演習を実施するため、「カメラ・マイク機能付きPC」でのご視聴をお願いいたします。
  また、受講者の集中力を維持いただき、研修効果を高めるため、ご受講いただく環境はご自宅あるいは勤務先会議室等を推奨いたします。

- 演習時にMicrosoft OfficeのExcelやPowerPointを使用します。これらのアプリケーションを利用できるデバイス、環境にてご受講ください。

3. そのほか事前にご確認いただきたいこと

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（以下「主催者」という）が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」（URL https://bit.ly/346E1Ag ）と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- オンライン開催による当期講座の受講者は、申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本講座の録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を停止いただく場合があります。

申込書

申込FAX: 03(3436)3190

参加申込規程

受講料

■ 当協会会員……受講料297,000円(税込／1名)
■ 上記会員外……受講料407,000円(税込／1名)

受講料に含まれるもの

❶テキスト、資料代　❷審査料

定員

68名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

申込方法

■ WEBの場合　当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

トップ⇒事業案内⇒研修⇒講座・コース⇒物流現場改善士資格認定講座

※当協会のホームページは www1.logistics.or.jp または「JILS」で検索してください。

■ FAXの場合　下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

事前に必ず以下をご確認ください

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」(URL https://bit.ly/346E1Ag)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

- 本講座の受講は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講座を期間限定で配信します。
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本講座の録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。
- テキストは受講申込時にご登録いただきました住所宛に郵送いたします。事務局による郵送物の到着確認後のテキスト再発行は行いません。

＜Zoomについて＞

- 本講座はZoomミーティングを利用して実施します。事前に受講で利用するデバイス(カメラやマイク機能のあるもの)にミーティング用Zoomクライアントをインストールのうえ、Zoom接続テストURL(※)にアクセスし、受講に支障がないことを確認してください(Zoomクライアントが利用できない場合は、ご参加いただけません)。
- 本講座のスムーズな進行のため事前のインストール、接続テスト、諸機能の把握等へのご協力をお願いいたします。
(※Zoom接続テストURL https://zoom.us/test)

＜Microsoft Officeについて＞

- 演習にてMicrosoft OfficeのExcelやPowerPointを使用します。これらのアプリケーションを利用できるデバイス、環境にてご受講ください。

受講料お支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いいたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【お願い】

- 受講予定の方のご都合が悪い場合は、全講義を代理の方がご出席ください。 なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。
(注)参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

【キャンセル規程】

開催 7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)……受講料の30%
開催前日および当日……受講料の全額
※キャンセル料は原則として消費税を除く受講料をもとに計算

申込先／プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会　JILS総合研究所
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3階
E-mail:kaizen@logistics.or.jp

第15期　物流現場改善士資格認定講座

開催期間:2024年6月5日～2025年2月7日　**BA2417**

(フリガナ)　(　　) 会社･事業所名	□会　員 □会員外	支払予定日(開催後になる場合はご記入をお願いいたします) 月　日 支払予定
(フリガナ)　(　　) 派遣責任者 勤務先住所　〒　－	所属･役職名 TEL:　－　－ FAX:　－　－ e-mail	
(フリガナ)　(　　) 受講者1 勤務先住所　〒　－	所属･役職名 TEL:　－　－ FAX:　－　－ e-mail	受付NO.
(フリガナ)　(　　) 受講者2 勤務先住所　〒　－	所属･役職名 TEL:　－　－ FAX:　－　－ e-mail	受付NO.
名　円	※WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。	

※E-mailを必ずご記載ください。

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求番号

【個人情報のお取扱について】

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (https://www1.logistics.or.jp/privacy.html)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。